

接合対形成時の相互作用にガモン1の糖鎖は関与しているのか

小林 真弓¹, 杉浦 真由美², 春本 晃江³

(¹奈良女子大・院人間文化・共生自然科学, ²放医研, ³奈良女子大・理・生物科学)

【要旨】 織毛虫プレファリズマは大核の形態により4つのグループに分類されており、接合誘導物質ガモン1はグループ内においては接合誘導能を持つが、グループを超えて接合対形成を誘導しないことが示唆された。我々は、接合誘導能の有無がガモン1のどのような分子構造の違いにより生じるのかを明らかにすることを目的に研究を行った。今回、ガモン1の活性を維持するうえで重要だと考えられている糖鎖構造について調べ、大核のグループ間で比較した。その結果、大核のグループの認識に糖鎖が関わっているとは考えにくいことが示唆された。